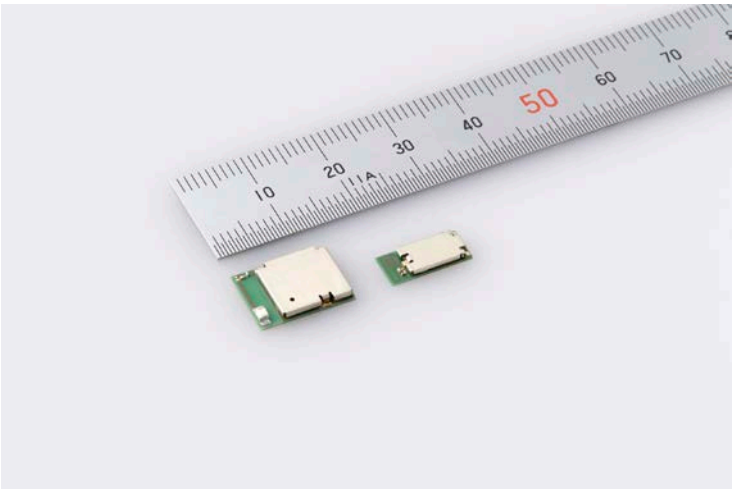
News Release　　2016 年 3 月 31 日

太陽誘電：*Bluetooth*® Smart モジュール、高性能タイプを追加

−多様化する IoT 関連機器に応えるため、ラインアップを拡充−



太陽誘電株式会社（代表取締役社長：登坂　正一、本社：東京都台東区）は、*Bluetooth*®(※1) Smart（※2）モジュール「EYSHCNZXZ」（9.6x12.9x2.0mm）と「EYSHJNZXZ」（5.1x11.3x1.3mm）を商品化します。

これらの商品は、ヘルスケア機器、ウエアラブル端末やスマートフォン周辺機器のほか、IoT（注1）関連機器などさまざまな小型・薄型機器に最適な商品で、無線通信規格の一種である *Bluetooth*® v4.2 low energy （*Bluetooth*® Smart）に対応した無線通信モジュールです。

太陽誘電は、お客様からの多様なニーズに応えられるよう、小型タイプや当社オリジナルソフト搭載タイプなど商品化してきました。今回、当社従来品から形状はそのままに、高機能化を実現。高性能 CPU と大容量メモリにより、より複雑なアプリケーションに対応することができます。

これらの商品は、日本国内にて月産 200 万個体制を構築します。「EYSHCNZXZ」は、2016 年 4 月から量産を開始し、「EYSHJNZXZ」も 2016 年度上期より量産を開始します。当社サンプル価格は、各アイテムともに 3,000 円（※3）です。

Bluetooth®の規格のひとつである *Bluetooth*® Smart は、非常に省電力な通信規格です。そのため、ヘルスメーターや血圧計などのヘルスケア用品、活動量計などのウエアラブル端末など、さまざまな機器へ急速に採用が進んでいます。さらに、「ビーコン」（注 2）と呼ばれる *Bluetooth*® Smart の機能を利用したさまざまなサービスの登場により、*Bluetooth*® Smart の搭載機器数は急速に拡大しています。そのため、それぞれの機器やお客様の要望の多様化に伴い、*Bluetooth*® Smart モジュールには、豊富な商品ラインアップが求められています。

そこで太陽誘電は、従来ラインアップに加え、形状はそのままに浮動小数点演算機能付きの高性能な ARM® Cortex®-M4 プロセッサ（※4）と、従来と比較して 2 倍の大容量メモリを搭載した「EYSHCNZXZ」、「EYSHJNZXZ」を商品化。IoT をはじめ、多様なサービスや複雑で高度なアプリケーションに対応できるラインアップを取り揃えました。

今後も市場からのニーズに応え、高信頼化・小型・低背化などさらなるラインアップ拡充を進めてまいります。

なお、従来品と合わせて当社 WEB サイト『*Bluetooth*® Smart』のソリューション提案ページに掲載いたします。当ページには、お客様のニーズに合ったモジュールを選択できる『最適モジュール選択チャート』も掲載し、最適な商品をご提案いたします。

※1 *Bluetooth*®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG,Inc.が所有しており、ライセンスに基づき太陽誘電株式会社が使用しています。
※2 「*Bluetooth*® Smart」は Bluetooth SIG,Inc. によって規定された規格です。
※3 掲載のサンプル価格は当社の販売サンプル価格になります。代理店経由のご購入を検討の際は、各代理店へお問い合わせ下さい。
※4 ARM および Cortex は、ARM Limited（またはその子会社）の EU またはその他の国における登録商標です。 All rights reserved.

■ 用途

ヘルスケア機器、ウエアラブル端末やスマートフォン周辺機器など多様な小型・薄型機器向け無線通信モジュール。

今回商品化した *Bluetooth*® Smart モジュールの主な特性は以下の通りです。

Part Number	Size (L×W×H)	Specification	I/F	RAM (kB)	Certification	Temperature
EYSHCNZXZ	9.6×12.9 ×2.0mm	V4.2 BLE Single Slave/ Master	UART SPI I^2C	64	Japan FCC IC CE※	−25～ +75℃
EYSHJNZXZ	5.1×11.3 ×1.3mm					

※ CE の Conducted 試験報告書提供可

■用語解説

（注 1）IoT （Internet of Things、モノのインターネット）

スマートフォンやウエアラブル機器をはじめ、自動車、産業機器などあらゆるものに通信機能が搭載され、インターネット接続や相互通信により、自動制御や遠隔管理などが行われること。

（注 2）ビーコン

広義では位置情報の伝達手段やそれらが設置された施設を指し、燈火、無線その他の方式が用いられる。非常に低消費電力な *Bluetooth*® Smart を利用したサービスとしては、無線で周囲のスマートフォンにクーポンや道案内、商品説明を配信したり、見守りタグとして使われる。